

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年7月5日(2007.7.5)

【公表番号】特表2006-526636(P2006-526636A)

【公表日】平成18年11月24日(2006.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2006-046

【出願番号】特願2006-514949(P2006-514949)

【国際特許分類】

A 6 1 K	9/70	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/32	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2006.01)
A 6 1 K	47/36	(2006.01)
A 6 1 K	47/38	(2006.01)
A 6 1 K	36/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 L	15/58	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	9/70	4 0 5
A 6 1 K	47/10	
A 6 1 K	47/32	
A 6 1 K	47/34	
A 6 1 K	47/36	
A 6 1 K	47/38	
A 6 1 K	35/78	W
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 L	15/06	

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月9日(2007.5.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

膨潤性粘着ポリマー、

膨潤剤、および

漢方薬

を含む親水性粘着組成物であって、

膨潤性粘着ポリマーは、膨潤剤の存在下で感圧粘着剤を形成し、かつ、

漢方薬は、水単独より膨潤剤に高い溶解性を示す親水性粘着組成物。

**【請求項 2】**

改質ポリマーをさらに含む粘着組成物であって、改質ポリマーと膨潤剤は組成物の凝集性を少なくとも維持する請求項 1 に記載の粘着組成物。

**【請求項 3】**

改質ポリマーは、ポリサッカリド、ポリサッカリド誘導体、アクリレート、アクリレート誘導体、コラーゲン、コラーゲン誘導体、セルロース、セルロース誘導体、ポリビニルアルコールおよびこれらの組み合わせを含む請求項 2 に記載の粘着組成物。

**【請求項 4】**

(a) 未架橋または部分的に架橋した膨潤性粘着ポリマーの前駆体を膨潤剤および改質ポリマーと混合すること、および

(b) 膨潤性粘着ポリマーの前駆体にガンマ線を照射して前駆体を架橋させ、請求項 2 に記載の組成物を提供すること

を含む請求項 2 に記載の粘着組成物の製造方法。

**【請求項 5】**

(a) 膨潤性粘着ポリマーの前駆体にガンマ線を照射して前駆体を架橋させること、および

(b) 架橋した膨潤性粘着ポリマーを膨潤剤および改質ポリマーと混合して、請求項 2 に記載の組成物を提供すること

を含む請求項 2 に記載の粘着組成物の製造方法。